

ヤママユガ科の飼育日誌・その1(5月27日)

有峰森林文化村
写真撮影:伊勢指導員

昨年(R3)田島指導員がライトトラップにて採集したヤママユから産卵を試みることに併せ、有峰人との生活との関係について調査、「ヤママユと有峰村の生業の関係について」と題し、ヤママユの蚕の採取、飼育を生業とする文化は見つからなかったことを報告しました。

昨秋より冷蔵庫に保存しておいたヤママユガ科3種、ヤママユ、ヒメヤママユとクスサンの卵を用い、孵化、脱皮、蛹化、羽化、産卵までの一貫した生活史、生態メカニズムの解明に挑戦しようとその研究に取り組むことにしました。準備した卵は、昨年R3年9月～10月に産卵された後、卵に防カビ剤ベンレート1000倍液下噴霧処理し、平均気温5℃前後にて冷蔵保存した卵です。今年5月22日冷蔵庫から室内に出し、ビジターセンターの室内に置き、生態観察を開始しました。

5月25日、ヤママユ及びヒメヤママユの孵化が始まりました。5月27日現在の孵化率はヤママユが10.5%、ヒメヤママユが76.5%です。クスサンは5月27日現在でも孵化のまままだ個体はいません。現在、食樹植物としてヤママユとヒメヤママユにミズナラの新葉を与え、容量450ml用の蓋つきペットカップに10頭/カップの割合で幼虫を入れ、飼育を開始しています。今後も情報提供を継続していきます。

| 種名 | 食樹植物 | 卵数 | 孵化数(5/27) | 孵化率 |
|--------|------|----|-----------|-------|
| ヤママユ | ミズナラ | 76 | 8 | 10.5% |
| ヒメヤママユ | ミズナラ | 85 | 65 | 76.5% |
| クスサン | — | 91 | 0 | 0 |



ヤママユの卵塊(5月27日撮影)
大きさ 2.5mm



飼育中のヤママユの初令幼虫
体長 8mm (5月27日撮影)



ヒメヤママユの卵塊
大きさ 1.5mm (5月27日撮影)



孵化直後のヒメヤママユの幼虫
体長 7mm (5月27日撮影)



クスサンの卵塊
大きさ 1.5mm (5月27日撮影)



飼育中のヒメヤママユ幼虫
体長 7.5mm (5月27日撮影)